

国家試験

機械保全技能士電気系3級
取得に向けた技能研修講座のご案内

研修概要

本講座は、国家試験 機械保全士 電気系3級取得を目的とし、簡易なタイムチャートの読み取り、電気回路（ハード図）の読み取り及び作成と配線技術の習得を目的としています。

主催

※
(株) KAMAMESHI、(一社) 日本鍛造協会の共同開発

※日本製鉄(株)初の社内ベンチャー、経済産業省「出向起業」令和5年度採択事業
製造業向けに設備予備品の調達マッチングや社内在庫管理DX、保全人材コンサル事業を展開中（参考URL：<https://kamameshi.com/lp/>）

受講対象

機械保全士（電気系）技能検定受験希望の方、
受験相当の機械保全士（電気系）知識取得希望の方（電気知識は問いません）

形式

集合研修 1泊2日×5セット（講義回数 計10回）
座学と実技試験の指導を実施、各回課題あり

受講料

400,000円（税込）

助成金

本セミナーは、上記受講料の45%が下記助成金（制度が拡充されました）の対象となる場合があります。
詳細は、下記ホームページをご参照ください。

- 雇用調整助成金：https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/kyufukin/pageL07_20200515.html
- 人材開発支援助成金：https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/kyufukin/d01-1.html

人数

6名

ご準備いただくもの

- ・配線工具
（圧着器、ワイヤーストリッパー、ニッパー、ドライバー等）
- ・テスター

※受講生ご自身でご準備ください。

会場

機械振興会館 〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8

申込締切

2025年5月30日（金）

機械保全技能士電気系3級
取得に向けた
技能研修講座のご案内

使用教材

専用教材＋電気回路キット
(1人1台使用)

研修カリキュラム

講座	日程	内容
第1回	9月10日・11日	保全士（電気）概要説明 使用電気品説明（リレー、タイマー、P B S等）＆配線工具取り扱い説明 配線実習
		課題1：配線実習自己保持回路、タイマー遅延回路等
第2回	10月8日・9日	課題1：配線自習、練習問題、学科
		課題1：配線実習、練習問題 課題2：リレータイマーチェック方法の説明、不具合修復
第3回	11月18日・19日	課題2：不具合修復
		課題1：2025公開後の配線実習、学科
第4回	12月10日・11日	課題1：試験想定（タイム計測＆採点）、学科
		課題1：試験想定（タイム計測＆採点） 課題2：試験想定（タイム計測＆採点）
第5回	2026年 1月14日・15日	課題2：試験想定（タイム計測＆採点） 課題1：試験想定（タイム計測＆採点）
		課題1：試験想定（タイム計測＆採点）、学科

講師紹介

元日本製鉄株式会社 電気設備技術士

累計100名超の若手・中堅を対象とした技能向上訓練の企画、教育の経験あり

2018年 日本製鉄株式会社社内の高技能者認定

2021年 千葉県「現代の名工」認定（電気配管工）

講座のスケジュール

1日目		2日目	
10 : 00	講義	9 : 00	講義
11 : 00		10 : 00	
12 : 00	昼食	11 : 00	
13 : 00	講義	12 : 00	昼食
14 : 00		13 : 00	講義
15 : 00		14 : 00	
16 : 00		15 : 00	
17 : 00		16 : 00	

受講のメリット

昨年度受講者5名全員合格！

- 保全技能士有資格者が在席することで、安定生産及び保全体制強化が可能
- 生産設備突発故障発生時の復旧初動迅速化
- 既存従業員の技能拡大・多能工化（体系的な理解深化）
- 自家整備範囲拡大による、修繕費の低減・リソース投入最適化
- 資格取得を人事評価に活用することで、従業員の自己啓発への意欲向上
- 採用活動時の P R 効果（会社が資格取得を支援）

【ご参考】

資格試験の概要（2024実績）

1. 実施する検定職種（作業）および等級区分

- (1) 職 種： 機械保全
(2) 等級および作業：3級（電気系保全作業）

2. 試験方法

試験は学科試験と実技試験を行います。

学科試験と実技試験の両方に合格することで「技能士」と称することができます。

(1) 学科試験

等級	出題形式・出題数	解答方法	試験時間
3級	真偽法30問	マークシート方式	60分

(2) 実技試験

等級・作業	電気系保全作業3級
実施方法	課題1：出題タイムチャートのランプ動作のなるよう検定盤内の配線 課題2：リレー&タイマー健全性確認（模擬不良品の状態確認&解答） 準備されたリレーシーケンスの不具合を修復
試験時間	課題1：標準時間50分+延長時間10分 TOTAL 60分 課題2：標準時間30分+延長時間20分 TOTAL 50分
審査方法	課題1：検定員による動作確認&配線確認 課題2：リレー&タイマー健全性確認 解答用紙マークシート方式 検定員による動作確認&配線確認

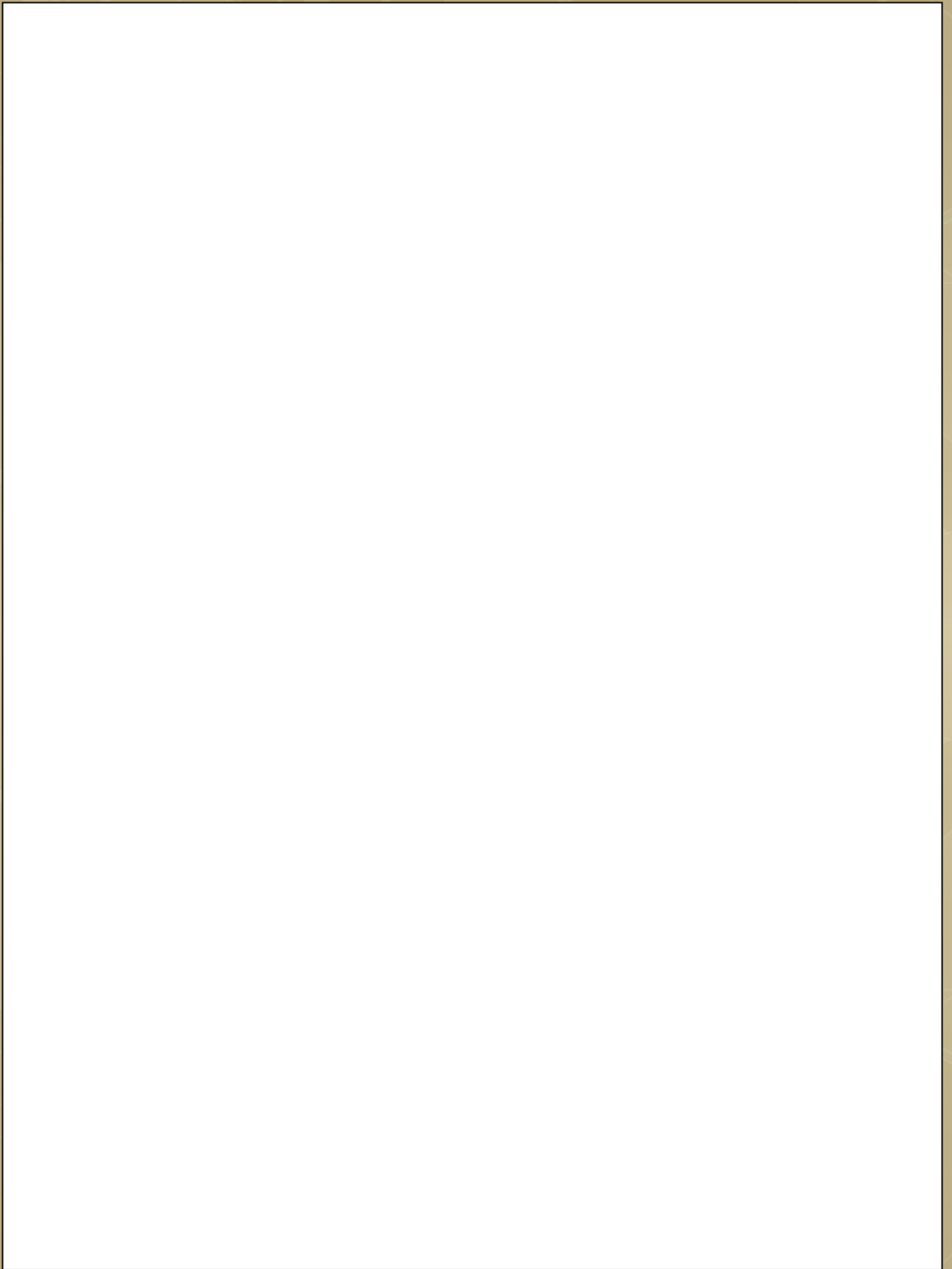
3. 受講料

学科試験のみの受験手数料	4,600円
実技試験のみ受験手数料	15,400円
学科・実技試験両方の受験	20,000円

4. 合格基準

項目	説明
学科試験	加点法で100点満点として65点以上の場合、合格となります。
実技試験	減点法で41点以上の減点がない場合、合格となります。 ※正答以外の解答（不正解、空欄、記入ミスなど）は、 すべて減点対象となり100点から減点されます

各設問の配点、受検者個別の解答内容など、採点結果については非公開です。



【受講申込書】

令和7年度

機械保全技能士電気系3級取得に向けた技能研修講座

<受講者情報>

申込日 : 令和7年 月 日

1	ふりがな	所属部・課 / 役職
	氏 名 :	
	e-mail : @	年齢 :
2	ふりがな	所属部・課 / 役職
	氏 名 :	
	e-mail : @	年齢 :

<申込者情報>

※ 請求書送付先

申込締切 : 令和7年5月30日 (金)

会社名	(所属部・課 / 役職)	
所在地	〒	
氏 名		受領印欄
連絡先	TEL :	
	FAX :	
	e-mail : @	

一般社団法人 日本鍛造協会

〒103-0023東京都中央区日本橋本町4丁目9番2号

TEL : 03-5643-5321 / FAX : 03-3664-6470 / e-mail : jinzai@jfa-tanzo.jp